



議会だより

第

119

号

群馬県昭和村議会

令和7年7月15日 6月定例会

第7回やさい王国昭和村河岸段丘マラソン
START



Contents

2～3 6月定例会

4～5 各常任委員会

6～7 全協・トピックス

8～14 村の姿勢を問う

15 あの問題は今

6年ぶりの開催！河岸段丘マラソン

6月定例会

今定例会は、5日から13日までの9日間の会期で開催されました。14件(承認5件、議案7件、報告2件)の議案をいずれも原案のとおり可決。また、7人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

人事

固定資産評価委員の選任意

島田宏充氏の人事異動に伴い税務会計課長諸田光明氏の選任に同意。

条例改正

昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

令和6年度の人事院勧告で示された「仕事と生活の両立支援の拡充」の一部項目に対応するもので、部分休業を取得しやすくするため、新たな枠組みを設ける。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

この改正は人事院勧告で示されたもので、子どもの年齢に応じた柔軟な働き方を実現させるため、本人又は配偶者の妊娠・出産等を申し出た職員に、育児休業制度の情報提供等を義務づける。また、3歳に満たない子どもを養育する職員に

対し、育児に係る両立支援制度に関する情報提供および意向確認を行う。

昭和村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

地方税の課税免除又は不均一課税に伴う減収補填制度について、3年延長し、令和10年3月31日までとする。

昭和村土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例

令和5年5月に「盛土規制法」が施行され、盛土規制法の許可対象外となる盛土等は、引き続き本村条例の許可対象とし、災害発生防止及び生活環境保全を図る。なお、盛土規制法の許可対象となる盛土等は、本村条例の許可制度から除外となるが土砂の搬入計画の届出が義務付けられる。

昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

選挙等の円滑な執行を図るため、投票所の投票管理者・立会人、開票管理者・立会人の費用弁償額を「国會議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」の改正に合わせて見直す。

補正予算

令和7年度昭和村一般会計補正予算(第1号)

7,895万3千円増額
総額

51億3,595万3千円
森下下宿区住民センターの改修に伴う助成、イーグルポイント市長等来村に伴う受け入れ費用、障害者福祉システムの改修費、特用林産物生産力アップ事業、こんにゃく消費拡大事業、桜まつり補助金、中学校部活動の地域クラブ活動支援補助金、給食センター洗浄室の空調設備改修工事等。

承認(専決処分)

昭和村税条例の一部を改正する条例

軽自動車税について、二輪車の車両区分を見直し。マイナ免許証の運用開始に伴い減免申請時に必要な運転免許証の提示義務の規定を整備。固定資産税について、豪雨被害に対して策定された被災住宅用地等に係る課税標準の特例措置の適用期限が2年延長等。

昭和村国民健康保険条例の一部を改正する条例

国保税の課税限度額について、基礎課税額が65万円から66万円、後期高齢者支援金等課税額が24万円から26万円に引き上げ等。

令和6年度昭和村一般会計補正予算(第6号)

2,462万6千円減額
総額
58億9,605万円
ふるさと納税の寄附実績などにより減額。

令和6年度昭和村国民健康
保険特別会計補正予算(第
4号)

126万円減額

総額

12億8,065万2千円

療養給付費の実績や保険
給付費の精算等に伴い減
額。

令和6年度昭和村後期高齢
者医療特別会計補正予算
(第3号)

31万2千円減額

総額

1億1,132万7千円

業務システム委託料の変
更や人間ドック補助対象者
の減少等により減額。

報
告

令和6年度昭和村一般会計

繰越明許費繰越計算書

繰越金

2億65万6千円

令和7年度へ繰り越され
る簡易水道事業、農道整備
事業、橋梁維持費、非常備
消防費等。

昭和村土地開発公社の財政
状況報告

令和6年度の事業報告
書、損益計算書、貸借対照
表、財産目録。令和7年度
の事業計画書、資金計画書、
予定損益計算書、予定貸借
対照表を報告。

用語解説

専決処分せんけつしよぶん

本来、議会が議決しなければ
ならないと定められている
事項について、緊急を要する
ため議会を招集する時間的余
裕がない場合等に、村長が意
思決定を行うことをいいます。
専決処分の後には、議会に
報告し承認を求める議案の提
出が必要です。

繰越明許費(くえいめいぎょひ)

その性質上又は予算成立後
の事由により、年度内にその
支出を終わらない見込みのあ
るものについて、議会の議決
を得ることで翌年度に繰り越
して使用することが認められ
ている歳出予算。
繰越明許費は、翌年度限り
の繰越使用であり、その決算
は、翌年度の決算と合わせて
決算することとされています。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。

第2回定例会(令和7年6月5日~13日)

		堤宏康	佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	林勝美	阿部孝司	片柳悦夫	藤井貞充	林幸司	加藤生	沢浦典子	永井一行
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて (昭和村税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて (昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて (令和6年度昭和村一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて (令和6年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて (令和6年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	昭和村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化 のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	昭和村土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部を改正す る条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	令和7年度昭和村一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	昭和村固定資産評価員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

みなさんからの請願・陳情

自 令和7年2月20日 至 令和7年5月22日

※6月定例会において、みなさまからの請願・陳情等の提出はありませんでした。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

所管事務調査 おちや震災ミュージアム「そなえ館」を視察

6月9日に総務民生常任委員会を開催し、所管事務について調査しました。

所管事務調査

問 高齢者世帯の住宅用火災警報器設置事業について

答 総務課

村の補助事業は、70歳以上の世帯を対象に、1台あたり約1万1千円の設置費を上限3台として、商工会に委託し、村内の事業者が設置している。

問 高齢者世帯のエアコン設置事業の現状と今後について

答 健康福祉課

補助対象要件を満たしたものの5件のうち、1件は支払い済み。今後の推奨について民生委員と協議していく。

問 道の駅めぐりーむ昭和の災害時の対応と備蓄について

答 総務課

道の駅は防災拠点に指定されている。備蓄品も敷地内倉庫に保管されている。基本的には一時避難所としての機能のみとなっている。

問 村分譲地について、周知方法は

答 企画課

現地にのぼり旗を立てた。今後は、ホームページ上で売却済み等を示していく。



森下分譲地

問 河岸段丘マラソンについて、運営委員の増員予定は

答 企画課

今後の進め方について、運営委員会や実行委員会でも検討していきたい。

視察研修

新潟県小千谷市

「おちや震災ミュージアムそなえ館」を視察

本常任委員会開催日は50

年前に本村を襲った「69災害」と同日の6月9日であった。

そこで、「新潟県

中越大震災の経験と教訓を蓄積、伝承し地域を担う防災人材の育成支援や、次の被災地へ受け継ぐための「そなえ」を共に学び共に考える防災学習研修施設」である「そなえ館」の視察をした。

館内では、「①震災発生当時の様子、



避難生活の様子

②いかにして復旧・復興を遂げたか、③震災の経験を生かして災害へのそなえはどのように進化したか」について、地震動シミュレーターや写真パネル、避難生活を再現した実物大の展示室を通して学ぶことができた。また、新聞紙や身近なものをを使って実際にスリッパや雨具を工作する防災学習体験ゾーンもあった。消防団活動や自主防災組織の機能の充実など「災害に強い村づくり」にとつて示唆に富んだ研修となった。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水などに関する事項を所管

所管事務調査 「南牧村立なんもく学園」等を視察

6月10日に文教産建常任委員会を開催し、所管事務について、調査・協議をしました。

所管事務調査

問

沼田市の上水施設は低コストの急速る過方式を計画、昭和村簡易水道は何方式か

答

建設課

東部簡易水道は膜ろ過方式、他は深井戸・浅井戸の汲み上げ方式を採用。膜ろ過方式はコストがかかるため、今後検討していきたい。

問

ナラ枯れが発生してきているが、今後の対策は

答

産業課

県では、原因である「カシノナガキクイムシ」の調査を村内で実施。環境森林譲与税等の活用も視野に入れ検討したい。

視察研修

「南牧村立なんもく学園」

本村にある小学校3校、中学校1校の統合等を検討しており、先進的に取り組んでいる義務教育学校「南牧村立なんもく学園」を視察。南牧村の人口は1,430人、847世帯、「みんなで創る一人ひとりが住みやすい村」を目指している。教育目標は「ふるさと南牧を愛し、豊かな人間性を持った子供」を掲げ、新しい学園では、児童生徒も先生も全員が主役をうたっている。

カシノナガキクイムシ(5mm程度)



病害虫が穿入したナラ

なんもく学園は旧校舎の老朽化等課題を令和2年に学校建設委員会へ諮問し、令和3年に魅力ある学校を新たにづくり義務教育学校として故郷に存続させると学校建設委員会へ答申した。極力、木質化の校舎とし、ユニバーサルデザインやSDGsを核とした新校舎は、地域の安心・安全や環境に配慮した快適な学習空間の実現となっている。



南牧村役場



なんもく学園

令和7年度の全生徒数は19名。「やさしく、かしこく、たくましく」を目標とし、地域に根ざした特色ある教育を実践している。今後、未来を支える子供達のため、教育環境、学習内容、地域との連携等を参考に、本村の新しい学びを実現する学校施設等の在り方を学ぶことができた行政視察となった。

「道の駅しもにた」

ねぎとこんにやく製品が多く並ぶ「道の駅しもにた」。上州姫街道における商品物流の要所として栄えてきた下仁田町。

駅内には、物産販売館、食事処、ミルクバー等があり、さらにイベント・会議等使用可能なコミュニティスペースもあり、防災拠点にもなっている。

全員協議会

4月・5月・6月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

4月28日

昭和村統合小中学校推進協議会(仮称)の報告

第1回の推進協議会の開催にあたり、構成メンバーや協議内容、広報方法等の報告を受け協議する。

公共物の用途廃止

赤城原字下原の用悪水路を廃止し、宅地として利用する説明を受け協議する。

森下分譲地の申込み等について

募集方法、応募資格、申込方法等について説明を受け協議する。

5月28日

昭和村第5次総合計画実施計画の振り返りおよび第6次総合計画の実施計画について

第5次総合計画の実施状況と第6次総合計画(前期)

期)の実施計画について説明を受ける。

昭和村統合小中学校推進協議会の報告について

第1回推進協議会の結果と第2回推進協議会の結果について、報告を受ける。

教育長から「広報しようわ」を効果的に活用して情報公開していくとの報告を受ける。

令和6年度ふるさと納税の実績について

寄附件数

12,058件

(前年度比)

12,948件減

寄附金額

5億4,765万1千円

(前年度比)

3億4,123万6千円減

森林経営委託契約による村有林の間伐

伐期齢を迎えた村有林について、森林計画を作成し、計画的に間伐して管理するとの説明を受け協議する。

その他

森下分譲地の進捗状況について

森下分譲地について、1区画の申込みがあるとの説明を受ける。

廃食用油の保管場所等について

廃食用油の保管場所は、旧給食センター(糸井)駐車場にプレハブを設置。搬入開始時期は、6月1日からとの説明を受け、管理等について協議する。



6月11日

部活動の地域展開について

今まで「地域移行」という名称で進めていたが、国からの指導により「地域展開」と名称が変更した。今後も近隣の自治体の動向を注視しながら推進していくとの説明を受け協議する。

公民館のコミュニティセンターへの移行について

公民館について、今後コミュニティセンターへの移行について、協議していくとの説明を受け協議する。



イーグルポイント市長ほか8名が表敬訪問

イーグルポイントから市長ほか8名が10月2日から10月7日までの間、表敬訪問するとの報告を受ける。



令和5年の表敬訪問

その他

旧消防ポンプ車3台をオークションへ

旧消防ポンプ車3台を官公庁オークションにかけての結果報告を受ける。

落札金額

【第3分団小型ポンプ車】

88万8千円

【第4分団ポンプ車】

111万6千66円

【第8分団ポンプ車】

111万円

視 察・調 査・トピックス

船ヶ鼻登山道安全祈願祭

5月2日、赤城山船ヶ鼻登山道安全祈願祭が行われ、神官の神事後、有志で登山に向かいましたが、雨に妨げられ下山しました。また、挑戦します。



婚姻記念植樹

4月26日、「結婚の森」にて4組の新婚ご夫婦が村の木、大山さくらの記念植樹を行い、お互いの幸せを再確認しました。



群馬県町村議会議長会より感謝状



片柳悦夫議員が5月29日、群馬県町村議会議長会の定期総会において、県議会議長会理事の退任に伴い、感謝状を贈呈されました。

イーグルポイント市子ども達が来村

イーグルポイント市から15名が来村。6月24日から7月2日まで6組のホストファミリーのもとに滞在。25日にはウェルカムパーティーが行われました。



広報編集特別委員会で視察研修【山形県朝日町】



朝日町は議会広報全国コンクールで編集・デザイン部門奨励賞を受賞

7月1日・2日の二日間、議会広報について視察研修を行い、分かりやすく読みたくなる紙面構成など、住民の立場に立った議会だよりを作ることの大切さを実感しました。

朝日町議会では、これまでの表紙を一新し、雑誌風デザインへの挑戦、AIを活用するなどの先進的な取り組みを進めており、その必要性を再認識しました。

林 栄一 議員



昭和村の大地からの贈り物をたくさん 食べよう推進条例の活用策は

村長 やさい王国昭和村の知名度向上と 経営の安定に寄与

問 消費拡大イベントの実施手法と成果は。

答 村長

毎月29日を「やさい王国昭和村の日」と定め、昭和の日（4月29日）に、初となる消費拡大を推進するイベントを実施。こんなにやく研究会の要請もあり、「しらたきサラダ」

の試食と製品などを配布し、好評でした。

本村は、日本一の生産量を誇るこんにやく芋の産地。製粉の過剰在庫や消費低迷への対策で、生産者の経営安定を図っていききたい。

問

毎月実施予定の「やさい王国昭和村の日」の進め方、実施主体、人員配置、経費な

ど含めてどう取り組むのか。

答 村長

村が中心となり、こんにやく消費への熱い思いを消費者へ伝えたい。交流都市へのPR活動は職員で調整。今年度の事業経費は、約600万円。初年度であり、公費支出を基本に実施します。「や

本村における移住・定住施策の取り組みは

村長 課題を探りながら移住促進施策を進めたい

問

移住コーディネーター制度導入で、移住・定住を促進する考えは。若い芸術家が、移住・定住する町もあるが、移住体験施設を設ける考えは、ありますか。

答 村長

コーディネーターが居れば、きめ細かな対応が可能。行政県税事務所を中心に、東京での移住相

談会の開催・情報発信・地域性の課題を検討するなど、この体制で進めたい。移住支援金活用で移住した方は、令和4年度に1世帯3名、令和6年度は単身1名。移住体験施設の設置は、ニーズを把握しながら考えたい。

移住支援金の活用、村の魅力の伝え方、課題など探りながら移住促進施策を進めていきたい。

問

「地域おこし協力隊」の成果並びに移住・定住に繋げる環境整備は、如何に。

答 村長

過去の実人員は5名。道の駅の観光交流室でスタンプラリーや商品開発等の観光振興。観光農園で観光客の誘致や交流促進。旬菜館で村のPRなどに取り組んで頂きます。

問

村の認知度を向上させる、地域おこし協力隊に期待するものは。

答 村長

道の駅を拠点に、SNSなど利用し村の美しい景観、美味しい野菜などの魅力を効果的に発信し、住民との交流を通じて、村の活性化に繋げる活動を期待しています。



やさい王国昭和村の日

さい王国昭和村」の知名度向上と、農業生産者の経営安定に少しでも寄与できるよう努めたい。

た。活動期間満了後も移住・定住していただけるようサポートします。



林 勝美 議員

河岸段丘を活用した むらづくりの提案

村長 実施するときには参考にさせていただく

問 「生越清水の化石林」の登録となぜ解除に至ったのかを、再度伺います。

答 教育長

平成15年に登録し、広く周知を図るためいろいろ調査を進めた結果、化石林の分布範囲が沼田市であったこと、また指定場所に存在が確認できなかったこと、村内周辺区域に存在が確認できなかったことなどです。以上の理由で解除しました。

問

悠久の時を経て形成された河岸段丘は地形が明瞭であり日本一美しいといわれています。この魅力を最大限に生かすため、河岸段丘や赤城高原を見渡せるハイキングコースを設置することを提案します。

答 村長

日本一美しい河岸段丘の魅力を最大限に生かす



ための、遊歩道を設置するという提案ですが、地形学的にも価値が高く、四季折々に景観が楽しめる素晴らしい提案です。様々な課題がありますがそういう事業を実施する際には参考にさせていただきます。

養蚕古民家の保存とその活用について

村長 住民の方々の理解が最も重要。文化財保護委員会で協議していく。

問

昭和村では古くから養蚕業が営まれてきました。現在も大型養蚕古民家や土蔵など、数多く残っています。重要伝統的建造物群保存地区への登録計画はありませんか。

答 村長

本村の養蚕古民家や土蔵等は、貴重な歴史的建造物であり、残したい住居としての価値が高いものもあると思われます。登録する場合は、住民の方々の理解が最も重要です。登録の必要性も含め、文化財保護委員会の中で話合っていきたいと思っています。

答 村長

文化財の保存には文化遺産を守る観点からとても重要です。指定には、所有者の同意と専門家による分析調査を行い、その価値を把握し、適切な管理が必要です。現在のところ登録の計画はございません。

問

仮に登録を進める場合、その必要性と活用方法についてはどの様に考えているのかお聞かせください。



学校問題について 「新しい場所」の解釈は

教育長 4校の校舎施設を活用して、小中をそこに集めるという意味合いでの認識もある

堤
宏康
議員



問 「昭和村統合小中学校推進協議会」(以下「協議会」と表記)の設立にあたって、最適な学校形態のお考えは。

答 教育長

一般的に小中一貫教育を行う形態としては、義務教育学校が最も効果的である。ただ、昭和村にとって最も適切かどうか協議会で討議していく。

問 協議会の主な協議内容は。

答 教育長

出発地点は、昭和村小学校の統合に向けた検討委員会(令和5年3月)答申とする。

進め方として、まず教育のソフト面、目指す教育の形を定めた上で、ハード面を協議する。協議会の決定事項は、教育委員会に提出し、承認を得た上で、村長へ提言する。

問 昨年12月の本会議でも質問したが、「小学校3校を統合して1校として新しい場所に」とは、「現在、小学校がある場所では不公平感があるので、統合小学校としては新しい場所、中学校としてはそのまま現在地」といった解釈。つまり、現昭和中学校の学校地も可能か。

非常勤の特別職「参与」とは

村長 行政の技術的・専門的事項について、高度の知識・経験を行政に反映させるために学識経験のある者を行政事務などにあずからせる職

問 3月議会で条例が可決され、追加された「参与」について、役場組織内での役割や位置づけは。

答 村長

オブザーバー的なポジションであり、村長の求めに応じ、専門的な立場から調査及び研究を行い、村政に対する助言及び提言を行う立場と考え

答 教育長

新しい場所とは、現在、建物建っていない新しい場所という認識が一つあるが、それとともに、4校の校舎施設を活用して小中をそこに集めるという意味合いでの新しい場所という認識もある。

問 3人の参与の具体的な役割分担はどのようになっているか。

答 村長

新木参与には、県部長の経験から、県とのパイプづくりや、公共施設の老朽化や新たな企業誘致

- 本学校問題の根幹は
- ① 学校形態
 - ② 建設地
 - ③ 開校年度
- の3つだと思います。
- ぜひ、教育長のマネジメントの下、本村にとって最適な学校になりますよう協議いただき、村長に提言し、また、村民にその具体的な姿を示して頂きますようお願いいたします。

などを含めた新たな財源確保を指示しています。

吉澤参与には、教育行政の経験から学校建設問題、部活動の地域展開や縮小傾向にあるスポーツ振興について指示しています。

今井参与には、横浜市のさらに強いパイプづくりと、多彩な人脈を生かしたむらづくりを指示しています。



加藤 生 議員

道路舗装の改修計画は

村長 補助事業・交付金事業等・活用
計画的に実施したい

問

外側線の延長と総事業費の見込みに

また、君河原橋の耐震補強工事も進めていくため、補助事業や交付金事業等を有効に活用して計画的に道路整備を実施していきたいと考えております。

答

村長

過去5年間の道路維持に係る年間の平均工事費の総事業費は約2億5,430万円となっております。道路の状況により変動しますが、過去の平均額から算出すると、12億円を超える事業費になると思います。

問

年々、物価高騰が続く中で、事業延長が伸びづらい観があります。最小の経費で最大の効果を目指して、舗装道路の打ち替工事が行われていると思いますが、今後5年間の総事業費についてお聞かせください。

についてもお聞かせください。

答

村長

外側線の延長と総事業費ですが、昨年度は1千万円の予算で外側線6.9km、センターライン2.4kmを施行しました。令和7年度も同額の事業費を確保しているので行っていきます。

問

舗装道路の設計で打ち替える方法とオーバーレイをする方法があるが、アスファルト舗装要綱の指針によるTAをどのように捉えているのかお伺いします。

答

建設課長

アスファルト舗装の構造設計手法の一つであるTAですが、信頼度、設計期間、舗装計画交通量、路床の設計CBRの条件によって決まる指針と認識しています。施行場所によって条件が異なるため、昭和村全域で画一的なTAの基準は設けていないが、設計の段階で指針の一つとして活用しており、総合的に勘案して、適切な舗装構成を判断しています。

答

建設課長

路盤の状態に応じて、路盤の上層、下層、換算厚を算出し、CBR数値等を設計しています。交通量の区分や交通の繰り返しの重荷に耐えられるよう、全体的な層厚を算出して、総合的に判断しています。

問

幹線道路とその他の道路のTAの違いについてお伺いします。

※TAとは

舗装工事における「TA」とは、舗装の各層を全て表層及び基層用加熱アスファルト混合物で施す場合に必要の厚さを指し、各層の材料を加熱アスファルト混合物に換算した時の厚さの合計に相当する値です。

言い換えると、舗装の強さを保持するために必要な、アスファルト混合物による厚さの換算値です。



切削オーバーレイ



外側線

道の駅「あぐりーむ昭和」をハイウェイオアシスとして周辺開発構想を

村長 道の駅付近に宿泊施設を思案

佐藤 好美 議員



問

道の駅「あぐりーむ昭和」は、新鮮な農産物の販売、レストラン、食事処、足湯等があり、村の魅力的な場所です。首都圏からのアクセス、立地条件は最高です。

さらに、ハイウェイオアシスとして、宿泊施設を含めた周辺開発を進めることを望みます。

本村の道の駅は、まさしく首都圏の台所として大活躍しています。緑豊かな大地に育まれた昭和村を大きくPRしてください。

飛躍のため、宿泊施設、



答

村長

子どもの遊び場、訪れた方のくつろぐ広場等、複合施設を目指し、昭和インターチェンジを生かしたハイウェイオアシスとして整備する構想はいかがでしょうか。

昭和村の観光拠点となる道の駅周辺の開発は、再整備も考えなければならぬ課題で、今後調査・研究し、費用対効果も勘案しながら対応。

また、周辺人口の課題を考慮しつつ、宿泊施設についても思案中です。

昭和と中付近に、昭和村と沼田市を繋ぐ架け橋について

村長 利用者の利便性を見極めて、建設を考える

問

村民の命と利便性の向上、地域の活性化の推進のため、昭和と中付近と沼田市を繋ぐ橋は必要かと考えます。

利根沼田地域医療の核を担っている医療機関へのアクセスも、橋をかけることにより、村民の安心が担保されます。

現在そのアクセスは遠回りとなり、緊急時とはとても大変です。妊娠、出産、発熱、急病、けが等橋を架けることにより、総合的な医療機関に迅速に行くことができます。

橋をかけることにより、さらに安心安全な村となり、若い世代が、安心して住みたいと思う一助にも繋がります。

医療機関には利根沼田地域からたくさんの方が利用し、勤務しています。橋が架かりアクセスが良

答 村長

沼田市と昭和村としっかり組んで進めていかなければと実現できないと思います。

利用者の利便性を十分見極めた上で、昭和と中付近と沼田市を繋ぐ橋の建設について考えてまいります。

なることで、昭和村で暮らしたいと願う方もいます。子どもに優しく、安心して暮らせる村の推進のため、昭和村と沼田市を繋ぐ架け橋を望みます。県や国とのパイプ役で働きますと明言された、諸分野のエキスパートである参与到、実現に向けて動いていただきたいと思います。



倉沢つかさ 議員

児童・生徒の通学路の安全な環境整備対策は？

村長 危険箇所の現地確認をし、改善策を検討

問

新学期が始まり、子どもたちは、元気に登校しているようですが、登下校中の事故に巻き込まれるニュースを知り、通学路の安全性はどのようになっていくのか心配です。

教育長に質問します。

①PTAから提出された、通学路の安全に関する要望書について。
②児童・生徒に対しての、交通安全の意識向上の教育について。

答 教育長

①通学路の危険箇所については、毎年5月から6月にかけて意見を各小中学校で集約し、報告を受けています。各関係機関と協力し、現地確認をして、改善策を検討します。昨年は15か所の要望に対して13か所は、対応済みもしくは、対応予定です。②毎年、安全教室を実施して、交通ルールの遵守や道路に潜む危険性などについて理解を深めています。

問

村長に別の観点から質問です。

①消えて見えない横断歩道について。
②歩道と車道の境の縁石の低い危険箇所のガードレール設置予定はあるか。

答 村長

①消えかけている横断歩道の引き直しは、沼田警察署が対応しています。消えて見えない箇所があれば、沼田警察署につなげます。

②安全運転で走行したとしても、危険と判断した箇所にはガードレールを設置済みです。さらに、危険箇所があれば、必要に応じて設置したいと考えています。

窃盗事件に対する防犯強化の対策について

村長 被害発生直後、防災無線や携帯メールで注意喚起

問

村内で、空き家や在宅の家を狙った窃盗事件が発生しました。安心な村を目指している昭和村にとって不安な出来事でした。村として、被害発生時の対応と、防犯対策で特に強化することはありますか。

答 村長

村内では4月に空き巣

被害が発生しました。安心で住みやすい村づくりを進めていく上で、大きな問題と捉えています。被害発生時には、防災無線や、携帯メールで告知し、村民への注意喚起を行ないます。

防犯対策強化については、今回の事案でも警察に提供した村内の防犯カメラの重要性があったことで、既設の33か所の防



防犯カメラ

犯カメラに加え、増設が必要か協議します。



消えた横断歩道

国保資格確認書(保険証)は 全員発行を

住民課長 国の通達があり次第、早急に対応したい

林
幸司
議員



問

全国民の3分の2以上がマイナ保険証を利用したことがない中で、紙の保険証(資格確認書に名称変更)が廃止されればトラブルが多発する。

後期高齢者のみ全員に暫定交付されますが、国保も全員交付を求めます。

答
村長

村民への周知を図り、問い合わせには丁寧に説明していきたい。マイナ保険証の所有者には、資格情報のお知らせを交付します。

答
住民課長

トラブルが想定されますが、国からの事務連絡で8月以降の対応について検討中とのこと。全員発行も考えられ、通達があり次第、早急に対応してまいります。

P F A S 検査結果と膜ろ過変更を

村長 経済的な処理方式導入へ調査研究

問 有機フッ素化合物、通称 P F A S の水質検査結果について説明を。

東部水道浄水施設の膜ろ過方式は、多額の維持費がかかり、早急に別方式に変更するよう求めます。

答
村長

5カ所の水質検査結果

は基準値以下。適正な水質管理を行っていきます。膜ろ過保守点検委託料1, 375万円を計上していますが、多額のコストがかかるため、経済的な処理方式導入に向けて調査研究をしていきたい。



東部簡易水道浄水場 膜ろ過施設

CO₂排出実質ゼロへの対応を

村長 再エネ普及に全力で取り組みます

問 地球沸騰化・気候危機による大災害は待ってくれません。環境省は全自治体にCO₂削減に取り組むよう求めています。

答
村長

電気は全部を地産地消に、太陽光など再エネ普及、体育施設のLED化などCO₂削減を積極的に推進してまいります。畜産関係の削減もすすめていきたい。宣言については調査、

研究をしてまいりたい。

「ぐんま5つのゼロ宣言」

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス「ゼロ」

問

大河原小学校区保護者有志代表2名と大河原小PTA会長並びに575名の賛同者で「中学生専用のスクールバス運行の早期実現を求める請願書」が、昨年5月に提出されました。

これからの統合小中学校建設へ向け、スクールバス運行は避けて通れないことなど、総合的かつ慎重に審査をした結果全会一致で採択。

村議会は、村当局へ早期導入が図れるように申し入れをしました。

答

村当局は、長年の懸案事項でもあり早期に実現すべく、新年度の令和7年4月から運行を開始したいとの回答がありました。

その後

今年4月から6km以上の遠距離通学者を、専用スクールバス3台(尾瀬紀行・りこばす)で、3路線(永井・赤城原線、追分・赤谷線、生越・大河原線)の新コース設定で、安全運行をしています。

利用する生徒は47名で、毎日元気に通学しています。



保護者のひと言

私たちの声が届き、スピード感を持ち対応して頂きました。3路線の運行でバス停も近くなり、とても乗りやすい。

自力で通える当たり前の環境になったことが、嬉しいです。

(竹吉亜衣さん：赤谷)

追跡
シリーズ

42

中学校スクールバス

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。請願・陳情を含めて、その後の経過を「追跡シリーズ」として約3年振りに復活しました。

地域でがんばる



6年ぶりの開催に尽力



(椽久保南部)

マラソン運営委員長 青木 永次さん

第7回河岸段丘マラソン大会が開催され、県内外から1300人以上のランナーが昭和村の大地を走り抜けました。遠くは沖繩からの参加者もあり、とても大きな大会となったと実感しています。

私は運営委員長として、6年ぶりの開催となる本大会を成功させるため、運営委員とともに、20回以上の会議を重ね、コース変更や全体構成を考え、大会当日に挑みました。今は無事終わる事ができ安心していきます。

この大会の目的は、多くの人に来ていただき、美しい風景、おいしい農産物を食べて、昭和村を知るきっかけにしたいと思い、始めた大会です。このため、レタス、ほうれん草、しらたきなどの特産品を参加賞としたところ、大変好評でした。

また、お忙しい中、300人以上のボランティアスタッフが、様々な作業にご協力いただいたことで、ランナーもゴールすることができたと思います。スタッフの皆さま

まには、感謝申し上げます。

次回は、「みなさんも走ってみませんか？」
「スタッフとして参加してみませんか？」

最後に、協賛していただいた多くの企業、個人の皆様に感謝と御礼を申し上げます。



マラソン運営委員会

議会を傍聴してみませんか



昭和村議会では、村民のみなさんの生活に直結した、重要な問題などを審議しています。

次の定例会は、9月に予定しております。

是非、傍聴してみてください。お待ちしております。

お問い合わせは議会事務局まで
(☎25-3546)



編集室から

主食である米や物価の高騰等で、価格の安定を願うニュースが流れている。昨今、村では基幹産業である野菜や、こんにゃくの消費拡大を推し進めているところです。

さて、6年ぶりに河岸段丘マラソン大会が、関係者及びボランティア等皆様の協力により盛会に開催されました。

また、「ともにつくろう輝く昭和村」を目指し、住民ニーズに基づき村の将来を見据えた第6次総合計画が策定されました。村民の思いと共に実現されますことを心から願います。

村民の皆様には、時節柄ご自愛いただきますようお願いいたします。

佐藤 好美 記

議会広報編集特別委員会

委員長 林 栄一

副委員長 藤井 貞充

委員 阿部 孝司 佐藤 好美
堤 宏康 沢浦 典子
永井 一行議会だより
既刊号